

(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有權機關  
國際事務局



(43) 国際公開日  
2004 年 6 月 3 日 (03.06.2004)

## PCT

(10) 国際公開番号  
**WO 2004/047438 A1**

- (51) 国際特許分類7: H04N 5/91, G11B 20/10, 27/034
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2003/014451
- (22) 国際出願日: 2003 年11 月13 日 (13.11.2003)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:  
特願 2002-336599  
2002 年11 月20 日 (20.11.2002) JP  
特願2003-376997 2003 年11 月6 日 (06.11.2003) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): コニ  
カミノルタホールディングス株式会社 (KONICA

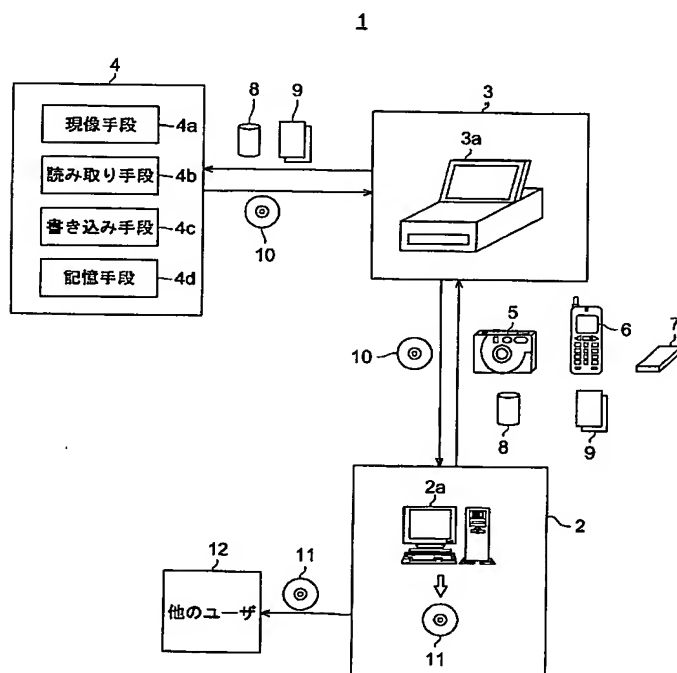
MINOLTA HOLDINGS, INC.) [JP/JP]; 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目6番1号 Tokyo (JP).

- (72) 発明者; および  
(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 上田 豊 (UEDA, Yutaka) [JP/JP]; 〒192-8505 東京都 八王子市 石川町 2970 番地 コニカミノルタフォトイメージング株式会社内 Tokyo (JP). 竹村 幸治 (TAKEMURA, Koji) [JP/JP]; 〒192-8505 東京都 八王子市 石川町 2970 番地 コニカミノルタフォトイメージング株式会社内 Tokyo (JP). 小星 重治 (KOBOSHI, Shigeharu) [JP/JP]; 〒192-8505 東京都 八王子市 石川町 2970 番地 コニカミノルタフォトイメージング株式会社内 Tokyo (JP). 五十嵐 隆史 (IGARASHI, Takashi) [JP/JP]; 〒191-8511 東京都 日野市 さくら町 1 番地 コニカミノルタフォトイメージング株式会社内 Tokyo (JP).

[続葉有]

(54) Title: PROGRAM WITH COPY FUNCTION AND INFORMATION RECORDING MEDIUM RECORDING THE PROGRAM THEREON

(54) 発明の名称: コピー機能付きプログラム及び該プログラムを記録した情報記録媒体



4a...DEVELOPING MEANS  
4b...READING MEANS  
4c...WRITING MEANS

4d...STORAGE MEANS  
12...AN OTHER USER

**(57) Abstract:** A copy program is recorded on a first information recording medium (10) and supplied to a user (2). The copy program is for copying, to a second information recording medium (11), image data specified by a received specified image data copy signal, an image display program for displaying, as necessary, the image data by a predetermined representation method, and setting information. The user (2) can use the image display program to display and process image data recorded on a information recording medium in advance and image data recorded on other storage means. The user (2) can also copy desired image data, the image display program, and the setting information automatically by simply clicking a button provided in advance on the image displayed by the image display program.

(57) 要約: 指定画像データコピー信号を受信し、該信号で特定される画像データと、必要に応じて画像データを所定の表現方法で表示する画像表示プログラムや設定情報等とを第2の情報記録媒体11にコピーするコピープログラムを第1の情報記録媒体10に記録してユーザ21に提供するものであり、ユーザ21は、画像表示プログラムを用いて該情報記録媒体に予め記録された画像データや他の記憶手段の画像データを表示、処理することができ、また、画像表示プログラムの画面に予め設けたボタンをクリックするという簡単な操作で、所望の画像データや画像表示プログラム、設定情報等を自動的にコピーすることができる。



- (81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AU, AZ, BA, BB, BR, BY, BZ, CA, CN, CO, CR, CU, DM, DZ, EC, GD, GE, GH, GM, HR, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, RU, SC, SD, SG, SL, SY, TJ, TM, TN, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PT, RO, SE, SI, SK, TR).

添付公開書類:

— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

## 明細書

## コピー機能付きプログラム及び該プログラムを記録した情報記録媒体

## 5 技術分野

本発明は、プログラム及びプログラムが記録された情報記録媒体に関し、特に、画像データとアプリケーションとをコピーする機能を備えたプログラム及びに該プログラムが記録された情報記録媒体に関する。

## 10 背景技術

カメラで撮影した写真を閲覧する方法として、撮影したフィルムをミニラボ、大  
15 ラボ等のフォトサービス店舗やコンビニエンスストア等の注文店舗に提供し、フォ  
トサービス店舗で現像、出力された写真プリントをアルバムに貼り付けて閲覧する  
方法が一般的であったが、近年のデジタル機器の普及に伴い、デジタルカメラで撮  
影した写真の画像データをパソコン等のコンピュータ端末に取り込んで閲覧したり、  
フィルムカメラで撮影したフィルムをフォトサービス店舗で画像データに変換  
してもらい、コンピュータ端末で閲覧する方法が用いられるようになってきている。

また、携帯電話機などの携帯端末機器にもカメラ機能が付加されたものが提供さ  
れるようになってきており、該カメラ機能で撮影した写真の画像データを携帯端末  
20 機器の表示手段に表示したり、携帯端末機器からコンピュータ端末に画像データを  
送信し、コンピュータ端末で画像データを閲覧するといった使用方法も定着しつつ  
ある。

上記方法では、写真画像をデジタルデータとしてコンピュータ端末のハードディ

スクやCD-R、DVD-R等の情報記録媒体に記録して管理することができるため、従来のように写真プリントをアルバムに貼り付ける手間を省くことができ、また、かさばるアルバムを保管する必要もなくなるという利点がある。しかしながら、写真プリントの場合はアルバムのタイトル等を参照して簡単に所望の写真を探し出すことができるが、写真画像をデジタルデータとして保管する場合には画像データをファイル名で識別しなければならず、所望の写真を検索するのが容易ではないという問題がある。

例えば、特開平5-108732号公報に記載されているように、銀塩写真のシステムで画像のアルバム整理を行う場合は、画像のテーマ別あるいは時系列の事象毎に一連のアルバム作成を行い、写真を閲覧鑑賞する場合は、選択したアルバムの中の特徴的な代表画像やレイアウトを見ながら所望の画像を簡単に見つけ出すことができるが、画像データの場合はファイル名や画像データに付加された文字情報をキーワードとしてユーザ自ら又はアプリケーションを用いて画像データを検索しなければならない。

このような不便さを解消するために、上記公報では、原画像入力手段から原画記録再生制御手段を介して記録再生装置に原画像データを記録し、原画像データを画像編集手段によって簡素化しつつ編集し、閲覧画像記録再生制御により画像表示手段に表示すると共に前記編集の手順を編集情報記録再生制御手段によって記録しておき、出力画像指定手段で指定した画像は、出力画像データ作成手段により原画像データを用いて編集情報に応じて作成した高精細度な出力用画像データを作成し、プリンタ等の画像出力手段によって画像を出力する方法が開示されている。

上記公報記載の方法を用いることによって、原画像を編集して閲覧表示する場合には簡素化された画像データによって従来の銀塩アルバム形式で所望の画像を手

軽に楽しむことができ、アルバム頁や1つの画像のプリント出力を行う場合には、高精細度の原画像データを用いて鮮明な画像を得ることができる。

【特許文献1】特開平5-108732号公報（第3-6頁、第1図）

このような方法を用いることにより記録された画像データの中から所望の画像  
5 データを検索することができるが、写真画像を画像データとして利用するためには、  
画像データを表示したり、画像データを用いた処理を実行するための各種アプリケ  
ーション（例えば、画像データをアルバム状に表示するプログラムや、スライドシ  
ョーを表示するプログラム、画像データを加工するプログラム、画像データを用い  
てポストカードやデザインプリントを作成するためのプログラム等）をユーザ自身  
10 が用意する必要がある。

また、上記アプリケーションを用いた処理を行うには、その都度、画像データが  
記憶されているハードディスクや情報記録媒体等の記憶手段から所望の画像デー  
タを選択し、各種アプリケーションの処理条件を設定するという煩雑な作業が必要  
である。特に、デジタルカメラやカメラ機能付き携帯電話機等のデジタル機器の普  
15 及に伴い、写真を撮影するユーザ層が広がっている状況において、画像データを利用  
する度に上記作業を必要としたのでは気軽に写真画像を閲覧することができな  
い。

また、画像データは撮影したユーザ自身が楽しむのみならず、友人、知人等にプ  
レゼントとして提供する場合もあり、効果的に写真画像を楽しんでもらうためには  
20 必要な画像データやアプリケーションのみをCD-R等の情報記録媒体に記録す  
る必要がある。しかしながら、CD-R、DVD-R等の情報記録媒体は安価では  
あるものの通常ライティングソフトが必要であり、FDやMOのように簡単にコピー  
することができず、このような作業をコンピュータ端末の操作に不慣れなユーザ

に求めるのは無理がある。また、上記情報記録媒体はコンピュータ端末で画像データを表示するために利用されるものであるため、操作性に優れるDVDプレーヤやDVDレコーダなどの画像再生機器で利用することができない。

## 5 発明の開示

本発明は、上記問題点に鑑みてなされたものであって、その主たる目的は、簡単な操作で、画像データと必要に応じて該画像データを表示するための適切なアプリケーションとを他の記憶手段に書き出すことができるコピー機能を備えたプログラム及び該プログラムを記録した情報記録媒体を提供することにある。

- 10 (1) 上記目的を達成するため、本発明の一実施例は、コンピュータを、表示手段に、画像データに基づき所定の表現方法で画像を表示させる手段として機能させる画像表示プログラムと、コンピュータを、前記画像表示プログラムで前記所定の  
方法で前記表示手段に画像が表現される画像データをコピーする対象として指定  
する指定画像データコピー信号を受信する手段として機能させ、前記指定画像デー  
15 タコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー信号で特定される画像データ  
と、前記画像表示プログラムとを所定の領域にコピーさせる手段として機能させる  
コピープログラムと、を有するものである。

- (2) 本発明の一実施例は、前記(1)記載のプログラムにおいて、前記コピー  
される前記画像データは、前記所定の方法で前記表示手段に表現される画像の元と  
20 なる画像データ、又は、前記画像データに基づいて処理又は生成された画像データ  
を含む構成とすることができる。

- (3) 本発明の一実施例は、前記(2)記載のプログラムにおいて、前記画像データに基づいて処理又は生成された画像データは、前記画像データに予め定めた差

分データを付加して生成された動画データ、又は、前記画像データを用いて合成されたデザインプリントの画像データを含む構成とすることができる。

(4) 本発明の一実施例は、前記(1)乃至(3)記載のコピープログラムにおいて、コンピュータを、前記所定の方法で前記表示手段に画像を表現するための設定情報、前記画像の表現に際して再生される楽曲音声情報、又は、前記画像データを基にしたプリント注文に利用される注文情報の少なくとも一の情報を前記所定の領域にコピーさせる手段として機能させる構成とすることができる。

(5) 本発明の一実施例は、本発明の情報記録媒体において、コンピュータを、表示手段に、画像データに基づき所定の表現方法で画像を表示させる手段として機能させる画像表示プログラムと、コンピュータを、前記画像表示プログラムで前記所定の方法で前記表示手段に画像が表現される画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信する手段として機能させ、前記指定画像データコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー信号で特定される画像データと、前記画像表示プログラムとを所定の領域にコピーさせる手段として機能させるコピープログラムと、が記録されたものである。

(6) 本発明の一実施例は、本発明の情報記録媒体において、画像データと、コンピュータを、表示手段に、前記画像データに基づき所定の表現方法で画像を表示させる手段として機能させる画像表示プログラムと、コンピュータを、前記画像表示プログラムで前記所定の方法で前記表示手段に画像が表現される画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信する手段として機能させ、前記指定画像データコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー信号で特定される画像データと、前記画像表示プログラムとを所定の領域にコピーさせる手段として機能させるコピープログラムと、が記録されたものである。

(7) 本発明の一実施例は、本発明の情報記録媒体において、画像データと、コンピュータを、前記画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信する手段として機能させ、前記指定画像データコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー信号で特定される画像データを所定の領域にコピーさせる手段として機能させるコピープログラムと、が記録されたものである。

(8) 本発明の一実施例は、前記(5)乃至(7)記載の情報記憶媒体において、前記コピーされる前記画像データは、前記所定の方法で前記表示手段に表現される画像の元となる画像データ、又は、前記画像データに基づいて処理又は生成された画像データを含む構成とすることができる。

(9) 本発明の一実施例は、前記(8)記載の情報記憶媒体において、前記画像データに基づいて処理又は生成された画像データは、前記画像データに予め定めた差分データを付加して生成された動画データ、又は、前記画像データを用いて合成されたデザインプリントの画像データを含む構成とすることができる。

(10) 本発明の一実施例は、前記(5)乃至(9)記載の情報記憶媒体において、コンピュータを、前記所定の方法で前記表示手段に画像を表現するための設定情報、前記画像の表現に際して再生される楽曲音声情報、又は、前記画像データを基にしたプリント注文に利用される注文情報の少なくとも一の情報を前記所定の領域にコピーさせる手段として機能させることができる。

(11) 本発明の一実施例は、画像データと、コンピュータを、前記画像データを基にしたプリント注文のプリント注文データ信号の受信手段として機能させ、プリント注文データ信号に基づき、プリント注文データファイルを生成する手段として機能させるプログラムと、コンピュータを、前記画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信する手段として機能させ、前記指定



画像データコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー信号で特定される画像データと、前記プリント注文データファイルと、前記第1のプログラムとを所定の領域にコピーさせる手段として機能させるコピープログラムと、が記録されたものである。

- 5       このように、本発明の構成によれば、所望の画像データと必要に応じて画像データを所定の表現方法で表示させるための画像表示プログラムとをセットとして所定の領域にコピーするためのコピープログラムが記録された情報記録媒体がユーザに提供されるため、ユーザはコンピュータ端末やDVDプレーヤやDVDレコーダなどの画像再生機器を用いて画像データの表示や画像データを用いた各種処理
- 10       を行うことができ、また、コピープログラムにより、表示される画像データと必要に応じて画像表示プログラムとを簡単な操作で他の記憶手段にコピーすることができる。

#### 図面の簡単な説明

- 15       第1図は本発明の第1の実施例に係る情報記録媒体提供システムの構成例を示す図である。

第2図は本発明の第1の実施例に係る情報記録媒体提供システムを用いた情報記録媒体の提供手順を示すフローチャート図である。

- 20       第3図は本発明の第1の実施例に係るコピープログラムにより機能する手段を示すブロック図である。

第4図は本発明の第1の実施例に係るプログラムのコンピュータ端末での動作手順を示す梯子図である。

第5図は本発明の第1の実施例に係る画像表示プログラムで表示される画面

の構成例を図である。

第 6 (a) 図は本発明の第 1 の実施例に係る画像表示プログラムで表示される画面の構成例を図である。

5 第 6 (b) 図は本発明の第 1 の実施例に係る画像表示プログラムで表示される画面の構成例を図である。

第 6 (c) 図は本発明の第 1 の実施例に係る画像表示プログラムで表示される画面の構成例を図である。

第 7 図は本発明の第 1 の実施例に係るプログラムの情報記録媒体作成端末での動作手順を示す梯子図である。

10 第 8 図は本発明の第 1 の実施例に係る画像表示プログラムで表示される画面の構成例を図である。

第 9 図は本発明の情報記録媒体作成端末の外観構成を模式的に示す図である。

第 10 図は本発明の情報記録媒体作成端末の外観構成を模式的に示す図である。

15 第 11 図は本発明の情報記録媒体作成端末の外観構成を模式的に示す図である。

第 12 図は本発明の情報記録媒体作成端末の外観構成を模式的に示す図である。

20 発明を実施するための最良の形態

本発明に係るプログラムは、その好ましい一実施の形態において、コンピュータを、画像表示プログラムにより所定の方法で表示手段に画像が表現される画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信する手段と

して機能させ、指定画像データコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー信号で特定される画像データと、必要に応じて画像表示プログラムや画像表示プログラムの設定情報等とを第2の情報記録媒体にコピーさせる手段として機能させるコピープログラムとを有するものであり、該プログラムが記録された第1の情報記録媒体を用いることにより、ユーザは、コンピュータ端末やDVDプレーヤやDVDレコーダなどの画像再生機器を用いて該情報記録媒体に予め記録された画像データや他の記憶手段から読み出した画像データを表示したり、各種処理を実行することができる。また、各種画像表示プログラムの画面に予め設けたボタンをクリックするという簡単な操作で、所望の画像データや必要に応じて画像表示プログラムや設定情報等を自動的にコピーすることができるため、コンピュータ端末の操作に不慣れなユーザであっても、画像データを有効に活用することができる。

上記した本発明の実施の形態についてさらに詳細に説明すべく、本発明の実施例について図面を参照して説明する。なお、以下の実施例における画像データとは、画像情報を含むデータの総称であり、画像データの中には静止画像データと動画データの双方が含まれる。

まず、本発明の第1の実施例に係るプログラム及び該プログラムが記録された情報記録媒体について、第1図乃至図6及び第9図乃至第12図を参照して説明する。第1図は、第1の実施例に係るコピー機能を備えたプログラムが記録された情報記録媒体をユーザに提供するシステムの構成を示す図であり、第2図は、ユーザに該情報記録媒体を提供する手順を示すフローチャート図である。また、第3図は、コピープログラムがコンピュータを機能させる手段を示すブロック図であり、第4図は、コンピュータ端末で実行される処理の手順を示す梯子図である。また、第5図及び図6は、ユーザのコンピュータ端末に表示される画面の構成例を示す図であり、

第9図乃至第12図は、情報記録媒体作成端末の外観構成を模式的に示す図である。

第1図に示すように、本実施例の情報記録媒体提供システム1は、写真の画像データが記録されたデジタルカメラ5やカメラ付き携帯電話機6、情報記録媒体7、写真画像が記録されているフィルム8や写真プリント9等を提供するユーザ2と、  
5 ユーザ2が提供したデジタルカメラ5（デジタルスチルカメラとデジタルビデオカメラの双方を含む。）やカメラ付き携帯電話機6、情報記録媒体7等から画像データ（静止画像データ又は動画データの少なくとも一方）を読み取り、画像データを表示するための画像表示プログラムと画像データ及び画像表示プログラムを記録するためのコピープログラムとが記録された第1の情報記録媒体10をユーザ2  
10 に提供するコンビニエンスストア等の情報記録媒体提供店舗3と、ユーザ2がフィルム8や写真プリント9を提供した場合にこれらから画像データを取得するミニラボ、大ラボ等のフォトサービス店舗4とを備えている。なお、ここで情報記録媒体提供店舗3と、フォトサービス店舗4は同一であってもよい。

また、情報記録媒体提供店舗3には、デジタルカメラ5やカメラ付き携帯電話機  
15 6、情報記録媒体7等から画像データを読み取り、第1の情報記録媒体10に書き込む情報記録媒体作成端末3aを備え、フォトサービス店舗4には、未現像フィルムを現像するための現像手段4aと、現像したネガフィルムや写真プリント9から画像データを読み取る読み取り手段4bと、読み取った画像データを第1の情報記録媒体10に書き込む書き込み手段4cと、画像表示プログラム及びコピープログラムを記憶する記憶手段4dとを備えている。また、ユーザ2は第1の情報記録媒体10に記録されたコピープログラムを用いて所望の画像データと画像表示プログラムとを第2の情報記録媒体11に記録するコンピュータ端末2aを備え、必要  
20 に応じて他のユーザ12に第2の情報記録媒体11が提供される。

なお、情報記録媒体作成端末 3 a やコンピュータ端末 2 a の形態は任意であり、例えば、第 9 図に示すようにコンビニエンスストアなどの店舗に設置可能なキオスク型の情報記録媒体作成端末 3 a としてもよいし、第 10 図に示すような専用のセットトップボックスとしたり、第 11 図に示すようなポータブルライタとしたり、  
5 第 12 図に示すようなパーソナルコンピュータとしてもよいし、演算処理手段や記憶手段を備えた DVD プレーヤや DVD レコーダを用いてもよい。また、以下の説明において、画像表示プログラムとは、画像データをディスプレイなどの表示装置、例えばパソコンは勿論のこと、DVD プレーヤや DVD レコーダなどの画像表示機能を有する装置を用いて、画像を表示させるためのプログラムであり、最も簡単な  
10 ものは読み込んだ画像データをそのままディスプレイに表示することであり、より視認しやすい手段としては第 8 図に示すように複数画像を同時に表示するいわゆるインデックス状にして表示する機能であり、ユーザ 2 がコピーしたい画像のところで一回クリックするとコピーの選択画像となり、再度、同じ画像でクリックすると選択が解除され、最後にコピーボタンを押すと未記録の CD-R（以下、ブランク CD と呼ぶ。）に対して選択画像となった画像データとインデックス表示プログラムをコピーする。更に発展した形式として、スライド表示するためのスライドショープログラム、画像データを電子アルバムとして表示するためのアルバム作成プログラム、画像データを基にしたポストカードやデザインプリントを作成、注文するためのデザイン作成プログラム、画像データの焼き増し等の注文を行うための焼き増し注文作成プログラム、画像データをバックアップするためのバックアッププログラム等、画像データを基に所定の表現方法で画像を表示させる任意のプログラムを指すものとする。また、情報記録媒体 7 には、コンパクトフラッシュ（登録商標）やスマートメディア、メモリースティック（登録商標）、マルチメディアカー

ド、SDメモリーカードなどのメモリーカードやCD-R/RWやDVD±R/RW、DVD-RAM、Blu-rayディスク、MO、ZIPなどが含まれ、第1の情報記録媒体10及び第2の情報記録媒体11には、CD-R/RWやDVD±R/RW、DVD-RAM、Blu-rayディスクなどが含まれる。

5 上記構成の情報記録媒体提供システム1を用いて、ユーザ2に画像表示プログラムとコピープログラムとが記録された第1の情報記録媒体10が提供されるまでの手順について、第2図のフローチャート図を参照して説明する。なお、本発明はパソコンなどのコンピュータ端末とDVDプレーヤやDVDレコーダなどの画像再生機器のいずれか一方、又は双方で利用可能な第1の情報記録媒体10を提供するものであり、コンピュータ端末で利用される場合は画像表示プログラムが必要であるが、画像再生機器で利用される場合は画像表示プログラムがなくても画像データを再生することができることから該プログラムは必ずしも必要ではない。以下、コンピュータ端末で利用される第1の情報記録媒体10が提供される場合について説明する。

15 まず、ステップS101において、ユーザ2は、コンビニエンスストア等の情報記録媒体提供店舗3で、画像表示プログラムとコピープログラムとが記録された第1の情報記録媒体10を購入する。このコピープログラムの機能については後述するが、第3図に示すように、コンピュータを、画像表示プログラムで表示される画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信する  
20 コピー信号受信手段13a、指定画像データコピー信号で特定される画像データ（元画像データ又は画像データを基にして処理、生成された画像データ）と、該画像データの表示に用いられる画像表示プログラムと、必要に応じて画像データに関連するデータ（例えば、画像表示プログラムの表現方法の設定データ等）を含むコ

ピーデータを作成するコピーデータ作成手段 13b と、コピーデータをCD-R等の所定の記憶手段にコピーする書き込み手段 13c として機能させるものである。

この第1の情報記録媒体10には、画像表示プログラム及びコピープログラムのみを記録してもよいが、画像表示プログラムで利用する画像データを書き込んでもよい。そこで、ステップS102で、ユーザ2は第1の情報記録媒体10に画像データを書き込むかを判断し、書き込む場合には、ステップS103で、情報記録媒体提供店舗3内に備えた情報記録媒体作成端末3aに購入した第1の情報記録媒体10を挿入すると共に、写真を撮影したデジタルカメラ5やカメラ付き携帯電話機6等を接続したり、画像データが記録された情報記録媒体7を挿入し、ステップS104で、情報記録媒体作成端末3aを操作することにより第1の情報記録媒体10に所望の画像データを書き込む。

なお、上記説明ではユーザ2が第1の情報記録媒体10を購入してから情報記録媒体作成端末3aを用いて画像データの書き込みを行う構成としているが、情報記録媒体作成端末3a内に予め画像表示プログラムとコピープログラムとを記憶しておき、ユーザ2が提供したデジタルカメラ5やカメラ付き携帯電話機6、情報記録媒体7から読み取った画像データを書き込む際に該プログラムを書き込んで第1の情報記録媒体10を作成する構成としてもよい。また、ユーザ2のコンピュータ端末2aに予め画像表示プログラムがインストールされている場合には、第1の情報記録媒体10にはコピープログラム又はコピープログラムと画像データのみを記録する構成としてもよい。

また、ユーザ2が未現像のフィルム8や写真プリント9を持ち込んだ場合は、フィルム8や写真プリント9とユーザ2が購入した第1の情報記録媒体10をフォトサービス店舗4に送り、フォトサービス店舗4で現像手段4aを用いてフィルム

8の現像、読み取り手段4bを用いて現像したフィルムや写真プリント9の読み取りを行って、書き込み手段4cを用いて読み取った画像データを第1の情報記録媒体10に書き込む構成としたり、フィルム8や写真プリント9をフォトサービス店舗4に送り、フォトサービス店舗4でフィルム8の現像、現像したフィルムや写真プリント9の読み取りを行って、読み取った画像データと記憶手段4dに記憶された画像表示プログラ及びコピープログラムとを書き込んで第1の情報記録媒体10を作成する構成としたり、読み取った画像データのみを他の情報記録媒体に書き込んでユーザ2に提供する構成とすることもできる。なお、フォトサービス店舗4でプログラムの書き込みを行わない場合は記憶手段4dは不要である。

- 10     そして、画像表示プログラムとコピープログラム、又は、画像表示プログラムとコピープログラムとユーザ2が提供した画像データとが記録された第1の情報記録媒体10を受け取ったユーザ2は、ステップS105で、自宅のコンピュータ端末2aに第1の情報記録媒体10を挿入し、コンピュータ端末2aに画像表示プログラムがインストールされていない場合には該プログラムをインストールして起動する。また、別の形態としては第1の情報記録媒体10に記憶されているプログラムをコンピュータにインストールするということを行わないで、直接起動できる形にしてもよい。そして、ステップS106で、第1の情報記録媒体10に記録されている画像データ又は外部の記憶手段に記憶されている画像データ（例えば、コンピュータ端末2aのハードディスクに記憶されている画像データ、デジタルカメラ5やカメラ付き携帯電話機6に記録されている画像データ、フィルム8や写真プリント9を基にしてフォトサービス店舗4で他の情報記録媒体に記録された画像データ等）を読み込み、モニタ等の表示手段に表示する。

次に、ステップS107で、所望の画像表示プログラムを選択し、ステップS1



08で、該画像表示プログラムを用いて、表示された画像データの中から所望の画像データを選択したり、画像データを用いてスライドショーを作成したり、画像データ（静止画像データ）から動画データを作成したり、画像データを用いた電子アルバムやデザインプリント、焼き増し注文データを作成する等の処理を行う。

- 5       そして、ステップS109で、画像表示プログラムで表示される画面に予め設けられたボタンやスイッチを押してコピープログラムを起動し、画像データと該画像データを表示するための画像表示プログラムとを所定の領域（例えば、第2の情報記録媒体11）に書き込む。なお、第2の情報記録媒体11に書き込まれる画像データは元の画像データに限定されず、元画像データを基にして処理、生成された画像データ（例えば、静止画像データを基にして生成された動画データやアルバム画像データ、合成されたデザインプリントの画像データ等）であってもよく、元画像データと処理、生成された画像データの双方を含んでもよい。また、必要に応じて、画像表示プログラムで画像データ表示するための設定データや画像データの表示と共に再生される楽曲音声データ、プリント注文の注文データ等の関連データを含
- 10
- 15       んでもよい。

      そして、ユーザ2は、前記の様に作成された第2の情報記録媒体11をコンピュータ端末2aに挿入し、所望の画像データを所望の画像処理プログラムを用いて表示したり、ステップS110で、第2の情報記録媒体11を友人、知人等の他のユーザ12に提供する。

- 20       このように、情報記録媒体提供店舗3や、フォトサービス店舗4において第1の情報記録媒体10に画像表示プログラムとコピープログラムと必要に応じて画像データとを記録してユーザ2に提供することにより、ユーザ2は画像表示プログラムを別途インストールすることなく、簡単に画像データを表示することができ、ま

た、コピープログラムを用いて所望の画像データと画像表示プログラムと必要に応じて関連データとをセットにして簡単に記録することができるため、ユーザ 2 が他のユーザ 1 2 に対するプレゼント用途などの特定の用途にカスタマイズされた第 2 の情報記録媒体 1 1 を簡単に作成することができる。また、第 2 の情報記録媒体 1 1 にコピープログラムを更に記録することで、他のユーザ 1 2 は更にカスタマイズした情報記録媒体（不図示）を作成することも可能である。

次に、コンピュータ端末 2 a を用いた場合について第 4 図の梯子図及び第 5 図及び図 6 の画面構成例を参照して、第 1 の情報記録媒体 1 0 を用いた処理の詳細な手順について説明する。なお、以下の説明では、第 1 の情報記録媒体 1 0 中に画像データが予め記録されている形態とするが、CPU 1 1 からアクセスすることが可能な第 1 の情報記録媒体 1 0 以外の、例えば、コンピュータ端末 2 a に内蔵されているハードディスクや MO ドライブ、PC カードドライブや、ネットワーク経由で他のコンピュータやサーバ等の外部の記憶手段に記憶された画像データを用いる場合も同様に適用することができる。また、画像表示プログラムとしてパソコン用のスライドショープログラムを例にして説明するが、コピープログラムによるコピー手順は他の画像表示プログラムにおいても同様に適用することができる。

#### <パソコン用スライドショープログラム>

まず、ユーザ 2 のコンピュータ端末 2 a の読み出し／書き込み部（ここでは、第 1 の情報記録媒体 1 0 を CD-R として説明するため CD-R ドライブとするが、DVD-R や MO、PD、ZIP 等の他の情報記録媒体を使用した場合は、その媒体に応じたドライブ）に第 1 の情報記録媒体 1 0 を挿入すると（第 4 図の（a））、コンピュータ端末 2 a の CPU は CD-R の入力を検知し、CD-R 中に記録されている画像表示プログラムが既にコンピュータ端末 2 a にインストールされてい

る場合にはインストールされているプログラムを起動し、インストールされていないと判断した場合にはユーザ 2 によりインストール処理が行われた後に起動する（第 4 図の（b））。なお、画像表示プログラムが 1 種類の場合は該プログラムが起動するようにしてもよいが、画像表示プログラムが複数の場合はメニュープログラムを起動し、メニュー画面で画像表示プログラムが選択可能に表示される構成とすることもできる。

そして、CPU は、CD-R ドライブに対して画像データの読み込みを指示し（第 4 図の（c））、CD-R ドライブは CD-R に記録された画像データをメモリ等のストレージに転送し（第 4 図の（d））、CPU ではストレージから転送された画像データを用いてアルバムデータを生成し（第 4 図の（e））、モニタ等の表示デバイスに、例えば、第 5 図に示すような作業メニュー付きアルバム表示画面を表示する（第 4 図の（f））。

この作業メニュー付きアルバム表示画面 14 には、例えば、画像データの供給元（例えば、第 1 の情報記録媒体 10 を示す” CD”、ユーザ 2 がお気に入りとして記憶した画像データの格納場所を示す” お気に入り”、コンピュータ端末 2 a のハードディスク、ネガフィルムやプリントを元データにしてフォトサービス店舗 4 で作成した情報記録媒体、デジタルカメラ 5 用のメディアを示す” ファイルから”、デジタルカメラ 5 やカメラ付き携帯電話機 6 を示す” デジカメから” 等）を示すタグ表示欄 15 と、画像データを縮小画像（サムネイル画像）を用いて一覧表示するアルバム表示欄 16 と、利用可能な画像表示プログラムを選択する作業メニュー欄 17 とが表示される。

なお、図では、作業メニューとして、画像データをパソコン上で順次切り替えながらスライド表示する” PC 用スライドショー” と、画像データを基に作成した動

画データをDVDプレーヤで表示することを可能にする形式で記録媒体に書き出すための”DVD用スライドショー”と、画像データを用いた電子アルバムを作成する”アルバム作成”と、画像データを用いてポストカード等のデザインプリント等を作成、注文する”デザイン作成”と、画像データの再プリントを依頼する”焼き増し注文”と、画像データに所定の処理を施してバックアップする”処理画像バックアップ”と、単にバックアップデータを作成する”単純バックアップ”の7種類の作業メニューを表示しているが、作業メニューは上記項目に限定されず、画像データに基づき所定の表現方法で画像を表示させる任意のプログラムを作業メニューに表示することができる。

そして、例えば、マウスやキーボード、タッチパネル等の入力デバイスを用いて作業メニュー欄17に表示された画像表示プログラムの中から所望のプログラムを選択（ここでは”PC用スライドショー”を選択）すると、入力デバイスからCPUにスライドショー作成メニュー指示が送られ（第4図の（g））、CPUは表示デバイスに、例えば、第6（a）図に示すようなスライドショー作成メニュー表示画面18を表示する（第4図の（h））。

このスライドショー作成メニュー表示画面18には、例えば、画像データを一覧表示する領域と、スライドショーにおけるスライド間隔やスライド効果、スライドショーに際して演奏されるBGMを設定する領域を含むスライドショー設定欄19と、スライドショーで再生される画像データを表示する選択画像データ表示欄20とが表示される。なお、第6（a）図では、画像データとして静止画像データが記録されている場合を示しているが、静止画像データに加えて動画データが記録されていてもよく、その場合は第6（b）図に示すように、一覧表示欄には静止画像データと動画データとが混在して表示される。この静止画像データと動画データとはサ

ムネイル画像の下に表示される画像データの拡張子を見て区別することができるが、一見して判別できるように表示形態を変えてもよい。また、第6(b)図はフィルムに記録された画像情報を読み取って得られた画像データを表示する例であるが、情報記録媒体7に記録された画像データを表示する場合は、第6(c)図に示す

5 ように情報記録媒体7に記録された静止画像データや動画データが情報記録媒体7毎に分類して表示され、デジタルカメラ5に記録された画像データを表示する場合は、同様にデジタルカメラ5に記録された静止画像データや動画データがデジタルカメラ5毎に分類して表示される。

そして、ユーザ2は、入力デバイスを用いてスライド表示する画像データの選択、

10 スライドショーの設定、BGMの設定を行い、選択画像データ表示欄20に設けられたスライドショーの開始スイッチを押すと、CPUにスライドショー作成情報が送られ(第4図の(i))、CPUは表示デバイスにスライドショーの表示を行う(第4図の(j))。ここで、静止画像データのみが選択された場合は、スライド

15 ショー設定欄19で設定された条件でスライドショーを作成すればよいが、静止画像データと動画データの双方が選択された場合は、静止画像データに関してはスライドショー設定欄19で設定されたスライド間隔、スライド効果、BGMで再生される動画データが作成され、この動画データと選択された動画データとを繋ぎ合わせて一連のスライドショーとして再生される動画データが作成される。なお、動画

20 データに基づく画像は静止画像データに基づく画像と別々に表示されるようにしてもよいが、動画データに基づく画像が小さい場合は静止画像データに基づく画像の上に別のウィンドウで動画データを再生してもよいし、動画データに音声情報が含まれている場合は、動画データ再生中はBGMの音量を下げたり消音してもよい。

このような操作によりスライドショーを閲覧することができるが、一旦画像表示

プログラム（ここではスライドショープログラム）を終了した後に、再度同じ条件でスライドショーを表示させるには、画像データの選択やスライドショーの設定、BGMの設定をやり直さなければならず不便である。また、スライドショーをユーザ自身が楽しむのみならず、知人等にプレゼントする場合には、必要な画像データのみが表示され、できるだけ煩雑な操作をすることなくスライドショーが実行されるようにすることが好ましい。そこで、本実施例では、ユーザ2が選択した画像データと画像データを表示するための画像表示プログラム（ここではスライドショープログラム）とを簡単な操作で他の情報記録媒体に記録できるようにしている。

具体的には、スライドショーを確認したユーザ2が、スライドショー作成メニュー表示画面18の選択画像データ表示欄20に予め設けたコピーボタン21（図では”CD-Rに保存”ボタン）を押すと、入力デバイスからCPUにコピー指示の信号（指定画像データコピー信号）が送られ（第4図の（k））、コピープログラムが動作する。このコピープログラムは、前記したように、コンピュータを、コピー信号受信手段13a、コピーデータ作成手段13b、書き込み手段13cとして機能させるものであり、コピー信号受信手段13aでコピー指示の信号を受けると、コピーデータ作成手段13bではコピーデータを作成する（第4図の（1））。

このコピーデータには、ユーザ2が選択した画像データと、画像データを表示するための画像表示プログラムとを含むが、画像データとして、該画像データを一覧表示するために用いるサムネイル画像データを含めてもよく、また、スライド表示順、スライド間隔、スライド効果等のスライドショーの設定データ、画像データと同時に再生する楽曲音声データ等の関連データを含めてもよい。

そして、コピーデータの作成が終了すると、書き込み手段13cで所定の領域（ここでは、CD-Rドライブに挿入されたブランクCD）にコピーを開始する（第4

図の (m) )。そして、コピーが終了すると、CD-R ドライブはCPU にコピー終了の信号を送り (第4図の (n) )、CPU はCD-R ドライブに対してコピーしたCD-R の排出を指示する (第4図の (o) ) と共に、表示デバイスにコピーの終了を表示する (第4図の (p) )。そして、CPU はストレージに対してコピーに使用したデータの削除を指示し、ストレージは該信号を受けてコピーデータを削除して一連の作業を終了する (第4図の (q) )。

なお、以上の説明は作業メニューとしてスライドショーを選択した場合であるが、他の作業を選択した場合も同様に第2の情報記録媒体11を作成することができる。以下、その概略について説明する。

#### 10 <DVD用スライドショー>

PC用スライドショーでは、画像データを所定のスライド効果で順次スライド表示することができるが、近年、DVD-RやCD-Rを再生することができるDVDプレーヤを所有するユーザ2や他のユーザ12が増加しており、DVDプレーヤではパソコンのように装置の立ち上げに時間がかからず誰もが簡単な操作で、かつ、  
15 大人数で画像データを観賞可能なことから、スライドショーをDVDプレーヤで再生できれば便利である。

そこで、本実施例では作業メニュー欄17に”DVD用スライドショー”のボタンを設けており、該ボタンを押すとDVD用スライドショー作成メニュー画面 (図示せず) が表示されるようにしている。そして、所望の画像データや楽曲音声データを選択してDVD用スライドショーの作成を指示すると、例えば、画像データが  
20 静止画の場合は画像データに予め定められたスライド効果に基づく差分データを付加した動画データが生成される。また、選択された画像データが静止画像データと動画データの双方を含む場合は、静止画像データについては上述した方法で動画

データを生成し、生成した動画データと選択された動画データとを繋ぎ合わせて一連のスライドショーとして再生される動画データが作成される。この動画データはMPEG 1、2、4等のDVDプレーヤで認識可能な任意の形式とすることができる。また、動画データの作成方法としては静止画像データを基に動画データを生成する任意の方法を用いることができ、例えば、本願出願人の先願（特願2002-51916号）に記載した方法を用いることもできる。

そして、動画データを生成した後、DVD用スライドショー作成メニュー画面中のコピーボタンをクリックすると、入力デバイスからCPUにコピー指示の信号（指定画像データコピー信号）が送られ、コピー信号受信手段13aでコピー指示の信号を受けると、コピーデータ作成手段13bでは動画データと必要に応じてスライドショープログラムや元の画像データ、楽曲音声データ、動画作成の設定データを含むコピーデータを作成し、書き込み手段13cでブランクCDにコピーデータを書き込んで第2の情報記録媒体11が作成される。

#### <アルバム作成>

15 画像データの量が増えてくると、所望の画像データを選択するのが困難になる。そのような場合には多数の画像データを選択、整理して見やすい電子アルバムを作成すると便利である。

そこで、本実施例では作業メニュー欄17に”アルバム作成”のボタンを設けており、該ボタンを押すとアルバム作成メニュー画面（図示せず）が表示される。このアルバム作成メニュー画面では、例えば、画像データを分類してタイトルを入力したり、画像データ毎に詳細な情報を入力したり、各アルバムのページをめくるように表示する設定ができるようになっており、アルバムを生成した後、画面中のコピーボタンをクリックすると、入力デバイスからCPUに指定画像データコピー信



号が送られ、コピー信号受信手段 13 a でコピー指示の信号を受信すると、コピーデータ作成手段 13 b では選択した画像データとアルバム表示プログラムと必要に応じてアルバムの設定データやアルバム表示と共に再生される楽曲音声データを含むコピーデータを作成し、書き込み手段 13 c でブランク CD にコピーデータを書き込んで第 2 の情報記録媒体 11 が作成される。

#### <デザイン作成>

近年、画像データを画面上に表示するのみならず、画像データを基にしたポストカード等のデザインプリントを作成するユーザが増えてきており、本実施例の第 1 の情報記録媒体 10 を用いてデザイン作成ができれば便利である。また、加工した  
10 画像データとデザインプリントのサイズやポストカードや名刺などのデザイン種、プリント枚数などを示す注文データとをセットにして情報記録媒体に記録することができればその情報記録媒体を用いて情報記録媒体提供店舗 3 などに持ち込んだり、前記データをネットワーク経由でフォトサービス店舗 4 に送ってデザインプリントを簡単に注文することができる。

15 そこで、本実施例では作業メニュー欄 17 に”デザイン作成”のボタンを設けており、該ボタンを押すとデザイン作成メニュー画面（図示せず）が表示される。このデザイン作成メニュー画面では、例えば、予め設定されたテンプレートに画像データを拡大／縮小、回転して合成したり、デザインプリントに印刷する文字を入力したり、デザインプリントのプリントサイズ、プリント枚数等の注文情報を記載した注文データが作成できるようになっており、画像データを基にしたプリント注文  
20 のプリント注文データ信号を受信すると、プリント注文データ信号に基づき、プリント注文データファイルが作成され、画面中のコピーボタンをクリックすると、入力デバイスから CPU に指定画像データコピー信号が送られ、コピー信号受信手段

1 3 a でコピー指示の信号を受信すると、コピーデータ作成手段 1 3 b では合成した画像データとプリント注文データと、必要に応じてデザインプリントに使用した元画像データ、画像データやプリント注文データを表示するプログラムとを含むコピーデータを作成し、書き込み手段 1 3 c でブランク CD にコピーデータを書き込んで第 2 の情報記録媒体 1 1 が作成される。

<焼き増し注文>

画像データの焼き増しを行う場合は、注文店舗に焼き増しする画像データを提供し、注文店舗で注文票に記入する方法が一般的であるが、焼き増しする画像データと注文票とをセットにして情報記録媒体に記録することができればその情報記録媒体を用いて焼き増し注文を簡単に行うことができ便利である。

そこで、本実施例では作業メニュー欄 1 7 に” 焼き増し注文” のボタンを設けており、該ボタンを押すと焼き増し注文作成メニュー画面 (図示せず) が表示される。この焼き増し注文作成メニュー画面では、例えば、焼き増しする画像データを選択したり、焼き増しするサイズ、枚数等の注文情報を記載したプリント注文データが作成できるようになっており、プリント注文データを生成した後、画面中のコピーボタンをクリックすると、入力デバイスから CPU に指定画像データコピー信号が送られ、コピープログラムはコピー信号受信手段 1 3 a でコピー指示の信号を受信すると、コピーデータ作成手段 1 3 b では選択した画像データとプリント注文データと、必要に応じて画像データやプリント注文データを表示するプログラムとを含むコピーデータを作成し、書き込み手段 1 3 c でブランク CD にコピーデータを書き込んで第 2 の情報記録媒体 1 1 が作成される。

なお、ここで第 1 の情報記録媒体 1 0 や第 2 の情報記録媒体 1 1 に記録される画像データやそれに関する情報は外部からの見た目は一つのファイルとして表示し、

好ましくは圧縮した形でまとめておいてもよく、専用のソフトウェアからのみアクセス可能なような形にしておくことにより、データ検索の手間を省いたり、データを部分的になくさないようにするなどユーザ 2 や他のユーザ 1 2 の利便性を確保しつつ、ユーザの囲い込みを行うことも可能である。

#### 5      <処理画像バックアップ>

デジタルカメラ 5 やカメラ付き携帯電話機 6 で取得した画像データは、必ずしもコンピュータ端末 2 a での表示やプリント出力に適したものではなく、明るさや階調を含め目的の色に合わせるようなカラーマネージメント処理を施す方が好ましい場合もある。その場合に、画像データを逐一選択して処理を施すのは煩雑であり、  
10    選択した画像データに一括して画像処理を施してバックアップできれば便利である。

そこで、本実施例では作業メニュー欄 1 7 に” 処理画像バックアップ” のボタンを設けており、該ボタンを押すと処理画像バックアップ作成メニュー画面（図示せず）が表示される。この処理画像バックアップ作成メニュー画面で、画像処理を施す画像データを選択した後、画面中のコピーボタンをクリックすると、入力デバイスから CPU に指定画像データコピー信号が送られ、コピー信号受信手段 1 3 a でコピー指示の信号を受信すると、コピーデータ作成手段 1 3 b では選択した画像データに画像処理を施した画像データと、必要に応じて元画像データや画像処理の施した内容を示す設定データ、画像データを表示するプログラムとを含むコピーデータ  
15    を作成し、書き込み手段 1 3 c でブランク CD にコピーデータを書き込んで第 2 の情報記録媒体 1 1 が作成される。  
20

#### <単純バックアップ>

写真画像を画像データとして保管、管理する場合、画像データを記憶したハード

ディスク等の記憶手段が故障すると、その中に記憶された画像データを読み出すことができなくなってしまう恐れがあるため、通常、バックアップデータが作成される。その場合に、OSの機能を用いてバックアップデータを作成することもできるが、パソコン操作に不慣れなユーザにとってはこのような作業は容易ではない。

- 5       そこで、本実施例では作業メニュー欄17に”単純バックアップ”のボタンを設けており、該ボタンを押すと単純バックアップ作成メニュー画面（図示せず）が表示される。この単純バックアップ作成メニュー画面では、画面中のコピーボタンをクリックすると、入力デバイスからCPUに指定画像データコピー信号が送られ、コピー信号受信手段13aでコピー指示の信号を受信すると、コピーデータ作成手段13bでは所定の記憶手段（例えば、第1の情報記録媒体10）に含まれる画像データと、必要に応じて画像データを表示するプログラムとを含むコピーデータを作成し、書き込み手段13cでブランクCDにコピーデータを書き込んで第2の情報記録媒体11が作成される。

- 15       このように、ユーザ2は、本システムで提供される第1の情報記録媒体10を用いて画像データを表示し、各画像表示プログラムの画面に予め設けたコピーボタン21をクリックするのみで、ユーザ2が選択した画像データ（元画像データや動画データ、処理画像データ等）と、該画像データを表示するための画像表示プログラムと、必要に応じて関連データ（設定データや注文データ、楽曲音声データ等）を第2の情報記録媒体11に記録することができるため、従来のように同じ条件で画像データを表示する場合に再度画像データの選択や表示の設定を行う必要がなく、新たに作成した第2の情報記録媒体11を起動するのみで所望の画像データを所望の方法で表示することができる。

なお、上記説明では、画像表示プログラムとコピープログラムとを第1の情報記

録媒体 10 に記録してユーザ 2 に提供する構成としたが、本発明は上記実施例に限定されるものではなく、ユーザ 2 のコンピュータ端末 2 a とプログラムを提供するフォトサービスサーバ 200 とを通信ネットワーク 100 を介して接続し、プログラムを電子データとしてネットワーク経由でユーザ 2 に提供する構成とすることもできる。

次に、本発明の第 2 の実施例に係るプログラム及び情報記録媒体作成端末について、第 7 図を参照して説明する。第 7 図は、情報記録媒体作成端末で実行される処理の手順を示す梯子図である。

前記した第 1 の実施例では、ユーザ 2 に画像表示プログラムとコピープログラムとが記録された第 1 の情報記録媒体 10 を提供し、ユーザ 2 のコンピュータ端末 2 a で第 1 の情報記録媒体 10 を用いて第 2 の情報記録媒体 11 を作成する手順について説明したが、本発明のコピープログラムを情報記録媒体提供店舗 3 の情報記録媒体作成端末 3 a で動作させることもできる。

以下、第 7 図の梯子図を参照して、情報記録媒体作成端末 3 a で行われる処理について説明する。まず、情報記録媒体作成端末 3 a の入力部（例えば、メモリーカードや F D、M O 等の情報記録媒体挿入スロットやデジタルカメラ 5 やカメラ付き携帯電話機 6 の接続端子等）にユーザ 2 の情報記録媒体 7 を挿入又はデジタル機器を接続すると（第 7 図の（a））、C P U は前記情報記録媒体 7 や前記デジタル機器を検知し（第 7 図の（b））、C R T、キャラクタ L C D 等の表示デバイスに、書き込み可能な情報記録媒体（ここでは C D - R）の挿入要求表示を行う（第 7 図の（c））。

そして、C D - R ドライブに C D - R が挿入されると（第 7 図の（d））、C D - R ドライブからストレージに C D - R の挿入信号が送られ（第 7 図の（e））、

ストレージは表示デバイスにコピーを実行するか否かの判断を求める表示を行う（第7図の（f））。そして、キーボード、ボタン、タッチパネル等の入力デバイスを用いてコピー実行の指示をするとコピー実行指示信号がCPUに送られ（第7図の（g））、該信号を受けてCPUは入力部から情報記録媒体やデジタル機器に

5 記録された画像データを読み取り、CD-Rドライブに挿入されたブランクCDに該画像データをコピーする（第7図の（h））。

画像データの書き込みが終了すると、CD-RドライブはCPUにコピー終了の信号を送る（第7図の（i））。そして、CPUは画像データが書き込まれたCD-Rに画像表示プログラムが記録されているか否かを判断し、記録されていない場

10 合には、ストレージは画像表示プログラムを該CD-Rにコピーする（第7図の（j））。画像表示プログラムの書き込みが終了すると、CD-RドライブはCPUにコピー終了の信号を送り（第7図の（k））、CPUはCD-Rドライブに対してコピーしたCD-Rの排出を指示する（第7図の（l））と共に、表示デバイスにコピーの終了を表示する（第7図の（m））。

15 なお、ここでは、ユーザ2が予め画像表示プログラムが記録された情報記録媒体を用いる場合があるため、画像データの書き込みとプログラムの書き込みを別々に行っているが、ブランクCDを用いる場合には、指定画像データコピー信号受信手段13aでコピー指示信号を受信したら、コピーデータ作成手段13bで画像データと画像表示プログラムとを含むコピーデータを作成し、書き込み手段13cで

20 一度に書き込む構成とすることができる。また、入力部に情報記録媒体7を挿入又はデジタル機器を接続後、表示デバイスに画像データの一覧画面が表示され、入力デバイスを用いてコピーする画像データを選択する構成としてもよい。

このように、コピープログラムを情報記録媒体作成端末3aで動作させることに

より、ユーザ 2 は、情報記録媒体作成端末 3 a にデジタルカメラ 5 やカメラ付き携帯電話機 6 を接続、又は、情報記録媒体 7 を挿入するのみで、該デジタル機器や情報記録媒体 7 に記録された画像データが自動的に読み取られ、画像データを表示するための画像表示プログラムと共に記録されて第 2 の情報記録媒体 1 1 が作成されるため、ユーザ 2 はコンピュータ端末 2 a を用いて簡単に画像データを閲覧することができる。

#### 産業上の利用可能性

以上説明したように、本発明のプログラム及び該プログラムが記録された情報記録媒体によれば、簡単に画像データを表示することができ、また、画像データの選択や処理、表示の設定を行うことなく、所望の画像データを所望の表示方法で簡単に再現することができる。

その理由は、第 1 の情報記録媒体に、所望の画像データと該画像データを表示するための画像表示プログラムとをコピーするコピープログラムと、必要に応じて画像データや画像表示プログラムとがセットになって記録されるため、コンピュータ端末や DVD プレーヤや DVD レコーダなどの画像再生機器を用いて画像データを閲覧することができ、また、第 1 の情報記録媒体に記録されたコピープログラムは、画像表示プログラムで表示される画面に設けたボタンを押すことにより送信される指定画像データコピー信号を受信し、画像データや画像表示プログラム、画像データに関連するデータ等を含むコピーデータを作成し、第 2 の情報記録媒体にセットで記録するため、第 2 の情報記録媒体をコンピュータ端末に挿入して起動するのみで画像データを同様に表示することができるからである。

## 請求の範囲

1. コンピュータを、

表示手段に、画像データに基づき所定の表現方法で画像を表示させる手段として

5 機能させる画像表示プログラムと、

コンピュータを、

前記画像表示プログラムで前記所定の方法で前記表示手段に画像が表現される  
画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信す  
る手段として機能させ、

10 前記指定画像データコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー信号で特  
定される画像データと、前記画像表示プログラムとを所定の領域にコピーさせる手  
段として機能させるコピープログラムと、を有することを特徴とするプログラム。

2. 前記コピーされる前記画像データは、前記所定の方法で前記表示手段に表現  
15 される画像の元となる画像データ、又は、前記画像データに基づいて処理又は生成  
された画像データを含むことを特徴とする請求の範囲第1項記載のプログラム。

3. 前記画像データに基づいて処理又は生成された画像データは、前記画像デー  
タに予め定めた差分データを付加して生成された動画データ、又は、前記画像デー  
20 タを用いて合成されたデザインプリントの画像データを含むことを特徴とする請  
求の範囲第2項記載のプログラム。

4. 前記コピープログラムは、



コンピュータを、

前記所定の方法で前記表示手段に画像を表現するための設定情報、前記画像の表現に際して再生される楽曲音声情報、又は、前記画像データを基にしたプリント注文に利用される注文情報の少なくとも一の情報を前記所定の領域にコピーさせる

5 手段として機能させることを特徴とする請求項第1項記載のプログラム。

5. コンピュータを、

表示手段に、画像データに基づき所定の表現方法で画像を表示させる手段として機能させる画像表示プログラムと、

10 コンピュータを、

前記画像表示プログラムで前記所定の方法で前記表示手段に画像が表現される画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信する手段として機能させ、

15 前記指定画像データコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー信号で特定される画像データと、前記画像表示プログラムとを所定の領域にコピーさせる手段として機能させるコピープログラムと、が記録されたことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な情報記憶媒体。

6. 画像データと、

20 コンピュータを、

表示手段に、前記画像データに基づき所定の表現方法で画像を表示させる手段として機能させる画像表示プログラムと、

コンピュータを、

前記画像表示プログラムで前記所定の方法で前記表示手段に画像が表現される画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信する手段として機能させ、

5 前記指定画像データコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー信号で特定される画像データと、前記画像表示プログラムとを所定の領域にコピーさせる手段として機能させるコピープログラムと、が記録されたことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な情報記憶媒体。

7. 画像データと、

10 コンピュータを、

前記画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信する手段として機能させ、

前記指定画像データコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー信号で特定される画像データを所定の領域にコピーさせる手段として機能させるコピープログラムと、が記録されたことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な情報記憶媒体。

15

8. 前記コピーされる前記画像データは、前記所定の方法で前記表示手段に表現される画像の元となる画像データ、又は、前記画像データに基づいて処理又は生成された画像データを含むことを特徴とする請求の範囲第5項記載の情報記憶媒体。

20

9. 前記画像データに基づいて処理又は生成された画像データは、前記画像データに予め定めた差分データを付加して生成された動画データ、又は、前記画像デー

タを用いて合成されたデザインプリントの画像データを含むことを特徴とする請求の範囲第8項記載の情報記憶媒体。

10. 前記コピープログラムは、

5 コンピュータを、

前記所定の方法で前記表示手段に画像を表現するための設定情報、前記画像の表現に際して再生される楽曲音声情報、又は、前記画像データを基にしたプリント注文に利用される注文情報の少なくとも一の情報を前記所定の領域にコピーさせる手段として機能させることを特徴とする請求の範囲第5項記載の情報記憶媒体。

10

11. 画像データと、

コンピュータを、

前記画像データを基にしたプリント注文のプリント注文データ信号の受信手段として機能させ、

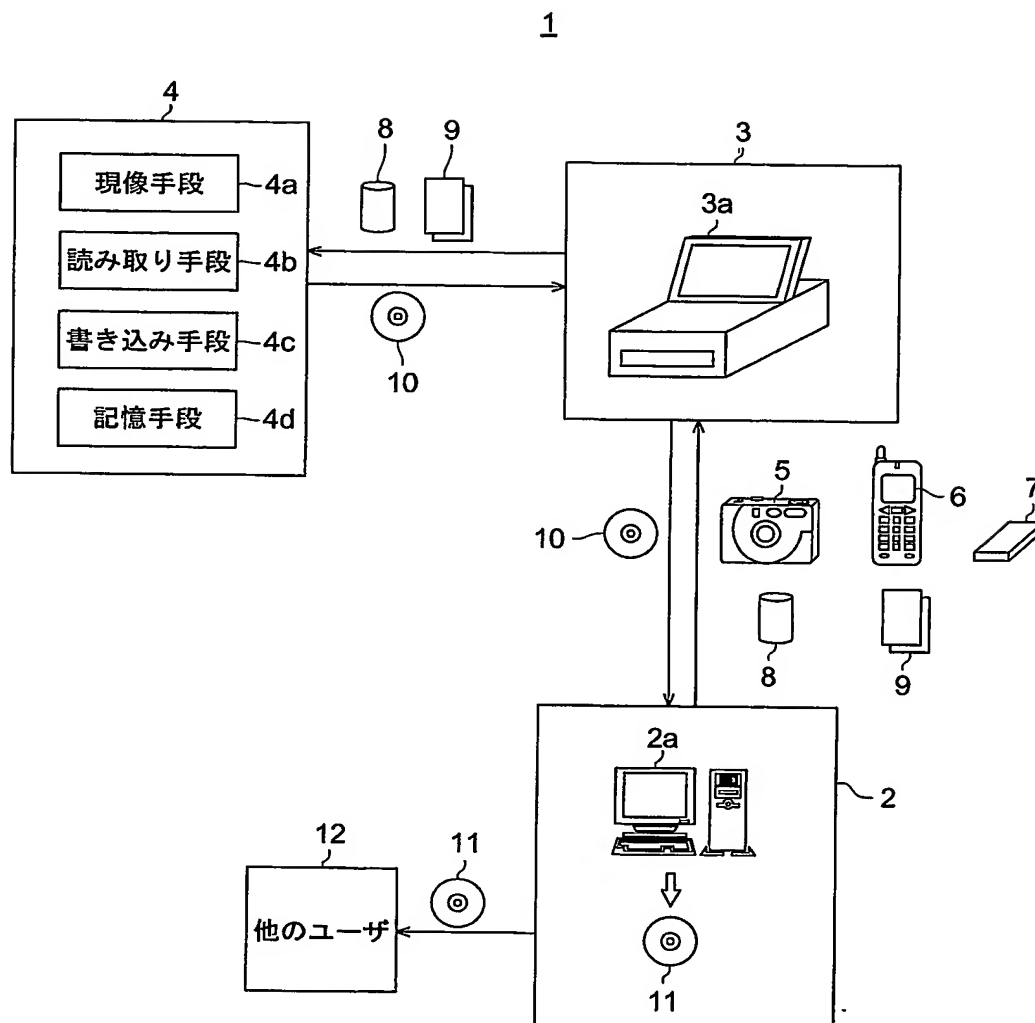
15 プリント注文データ信号に基づき、プリント注文データファイルを生成する手段として機能させるプログラムと、

コンピュータを、

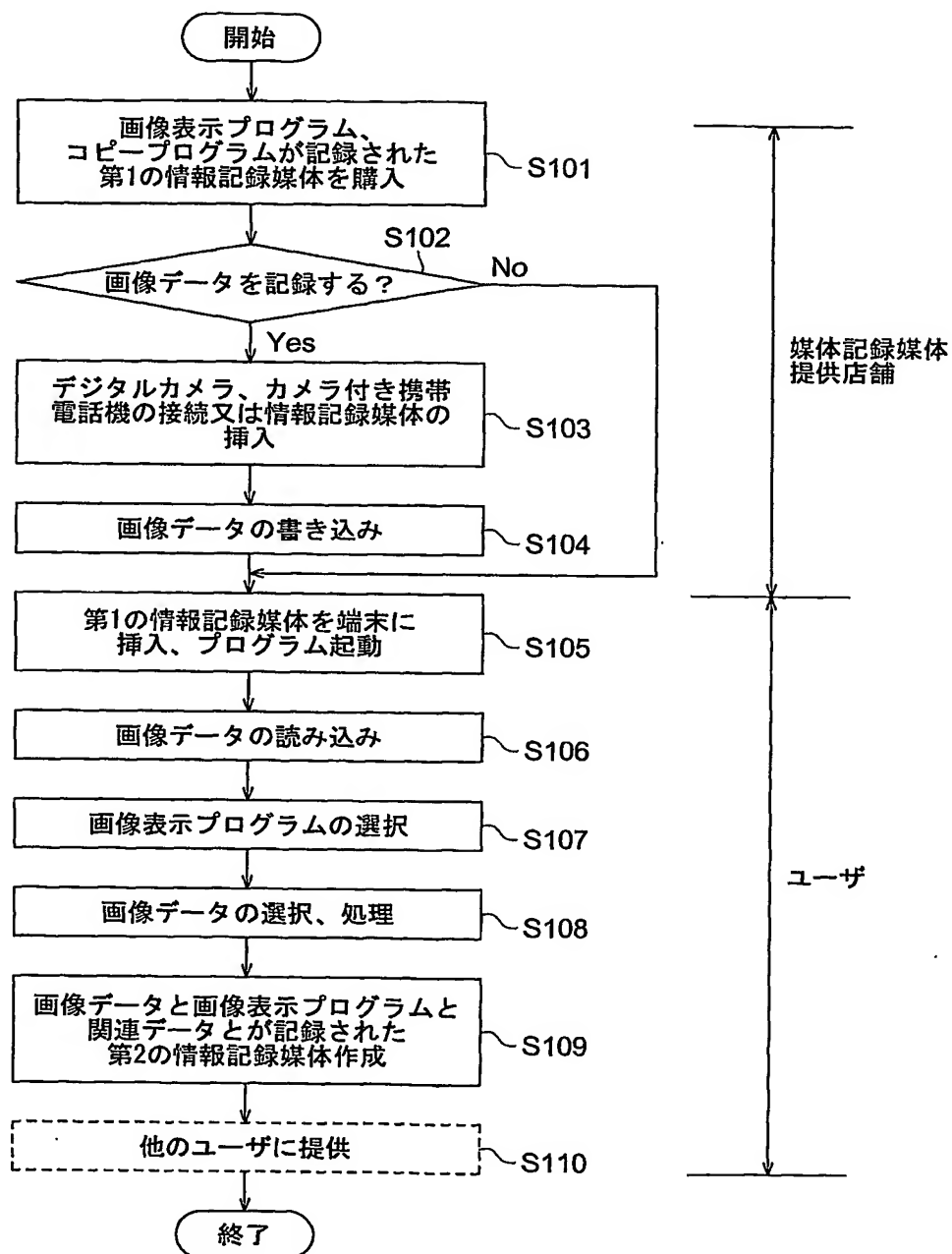
前記画像データをコピーする対象として指定する指定画像データコピー信号を受信する手段として機能させ、

20 前記指定画像データコピー信号を受信すると、該指定画像データコピー信号で特定される画像データと、前記プリント注文データファイルと、前記第1のプログラムとを所定の領域にコピーさせる手段として機能させるコピープログラムと、が記録されたことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な情報記憶媒体。

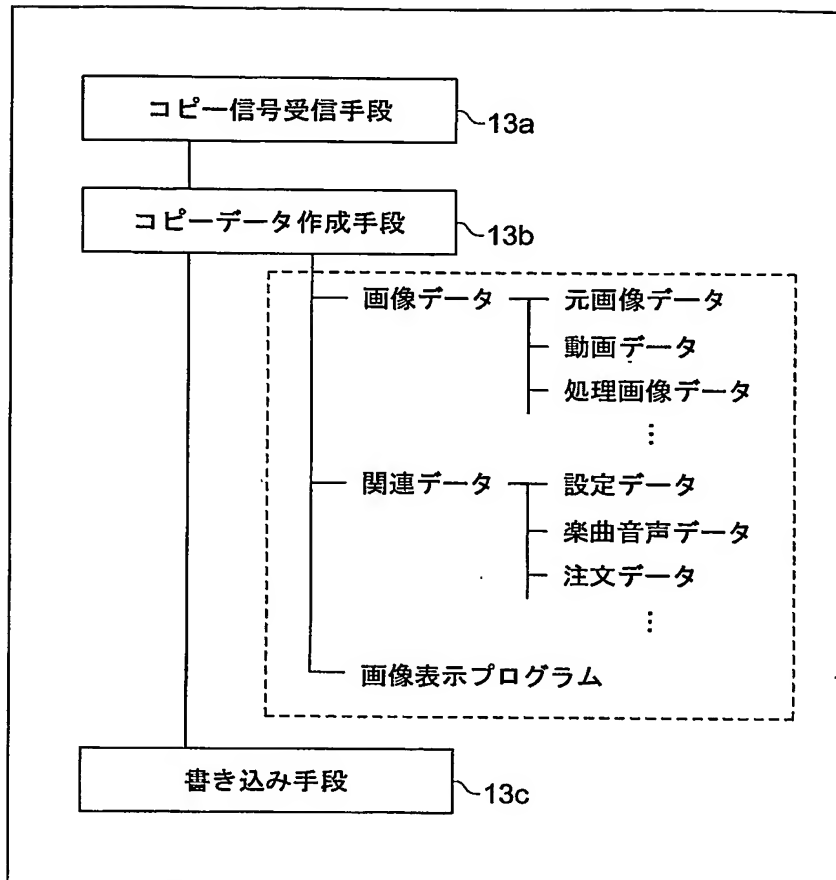
## 第 1 図



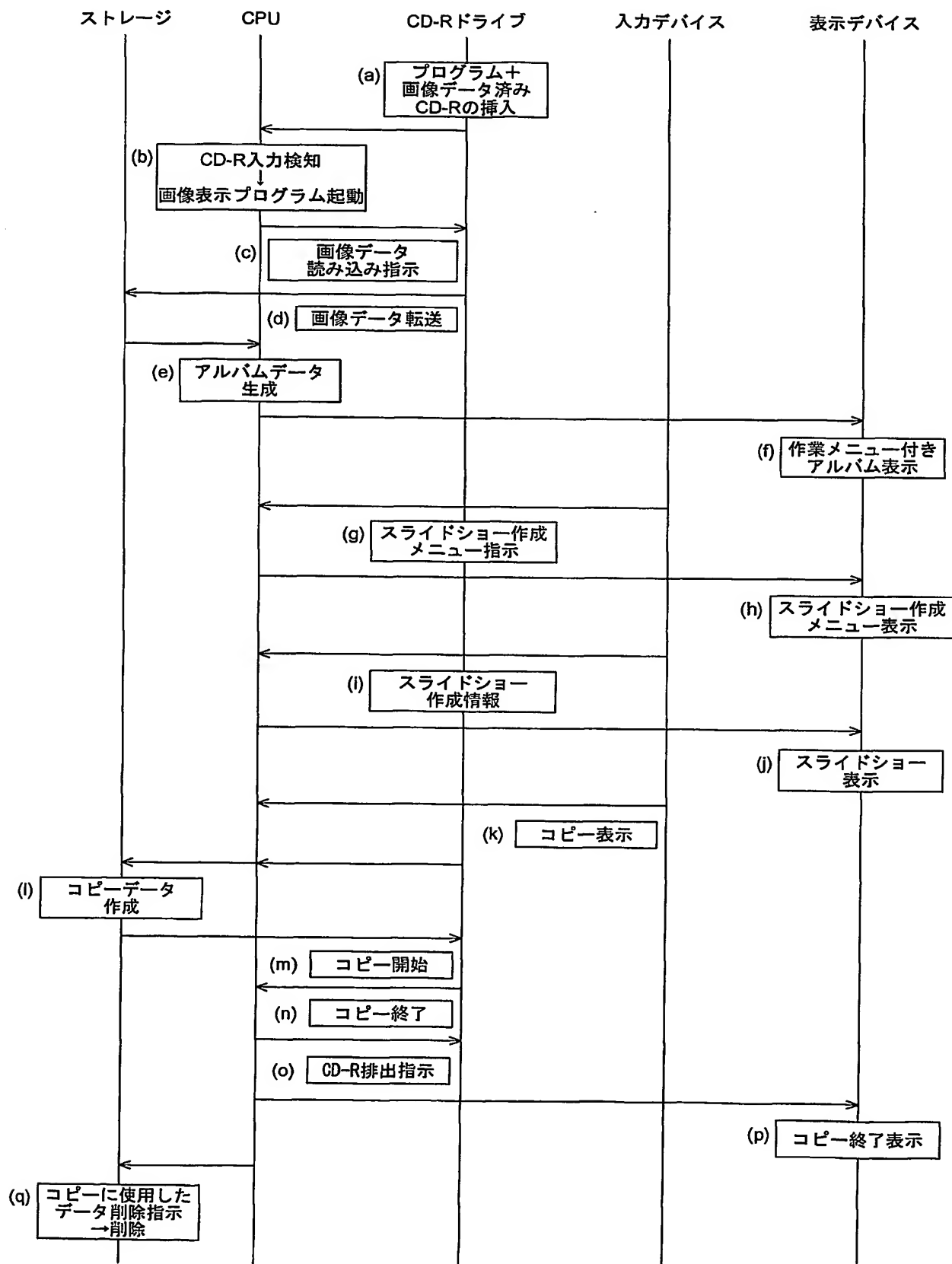
## 第2図



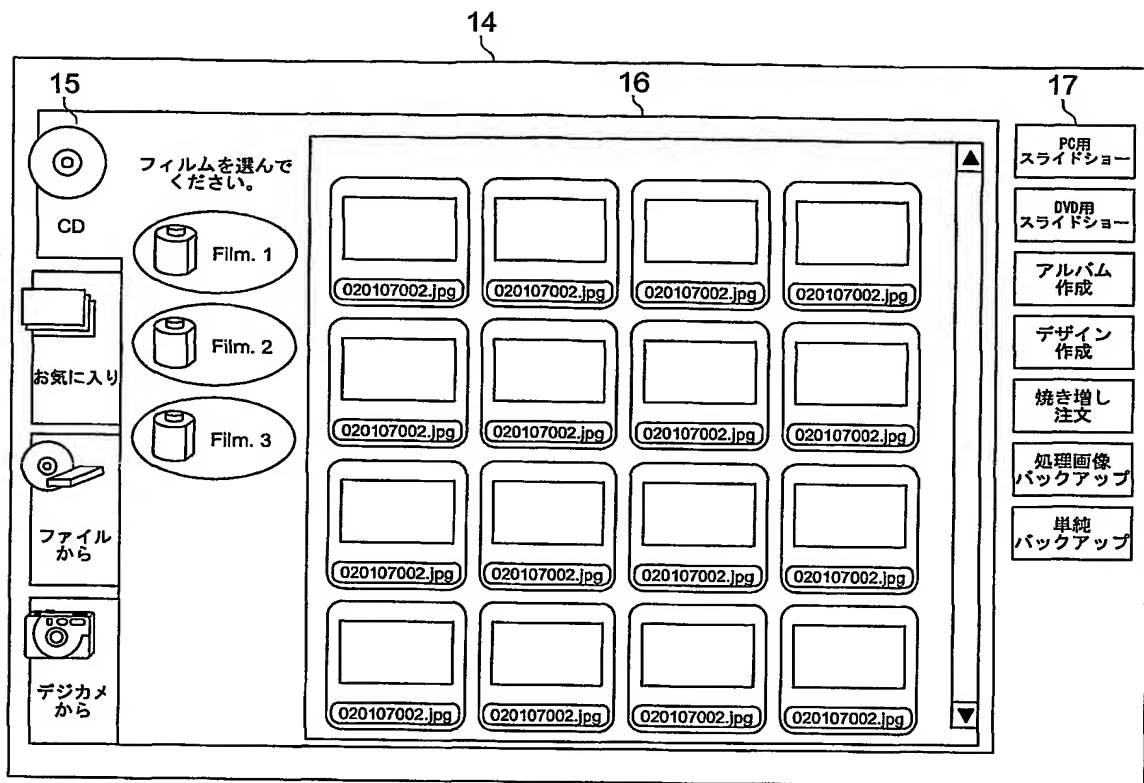
## 第 3 図



## 第4図

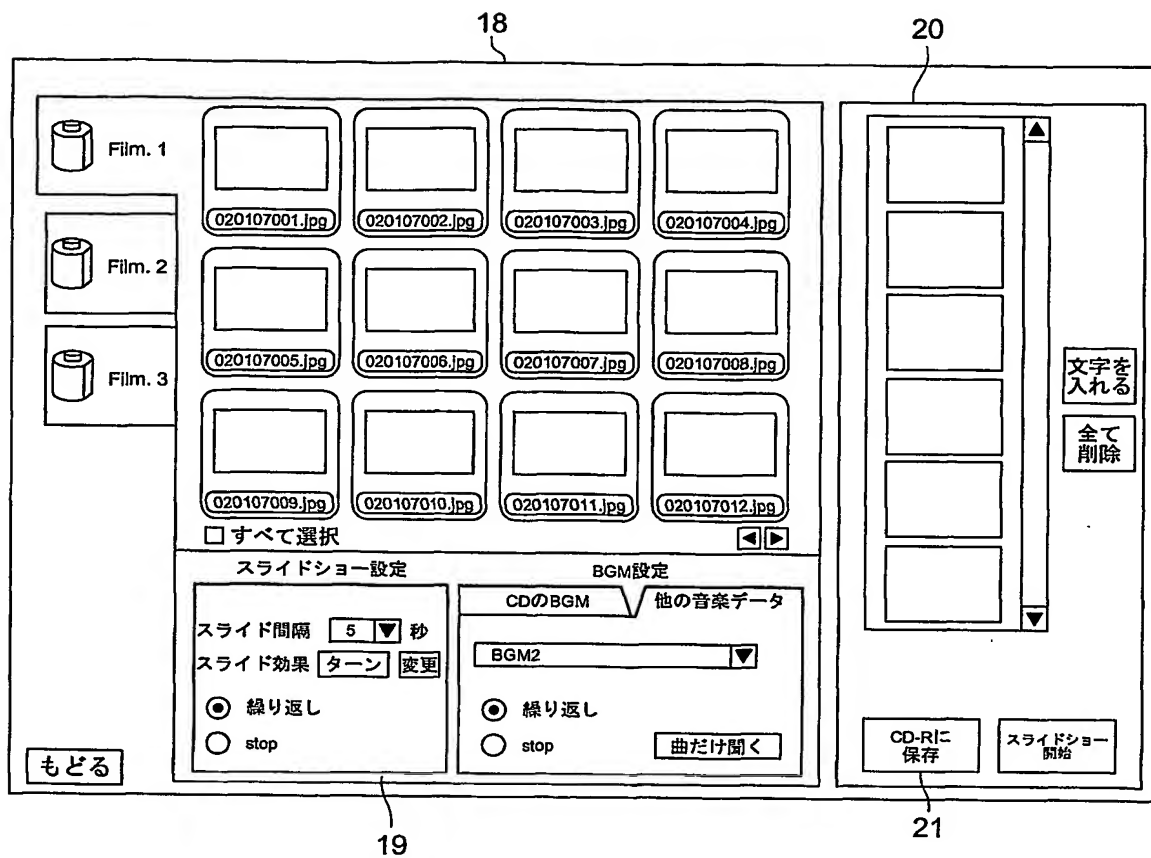


## 第 5 図





## 第 6 ( a ) 図



7/14

## 第 6 (b) 図

18

20

Film. 1

Film. 2

Film. 3

020107001.jpg

020107001.jpg

020107002.jpg

020107003.jpg

020107004.jpg

020107005.jpg

020107002.jpg

020107006.jpg

020107007.jpg

0201070082.jpg

020107003.jpg

020107009.jpg

☐ すべて選択

スライドショー設定

スライド間隔 5 秒

スライド効果 ターン 変更

☒ 繰り返し

☐ stop

もどる

BGM設定

CDのBGM 他の音楽データ

BGM2

☒ 繰り返し

☐ stop

曲だけ聞く

文字を入れる

全て削除

CD-Rに保存

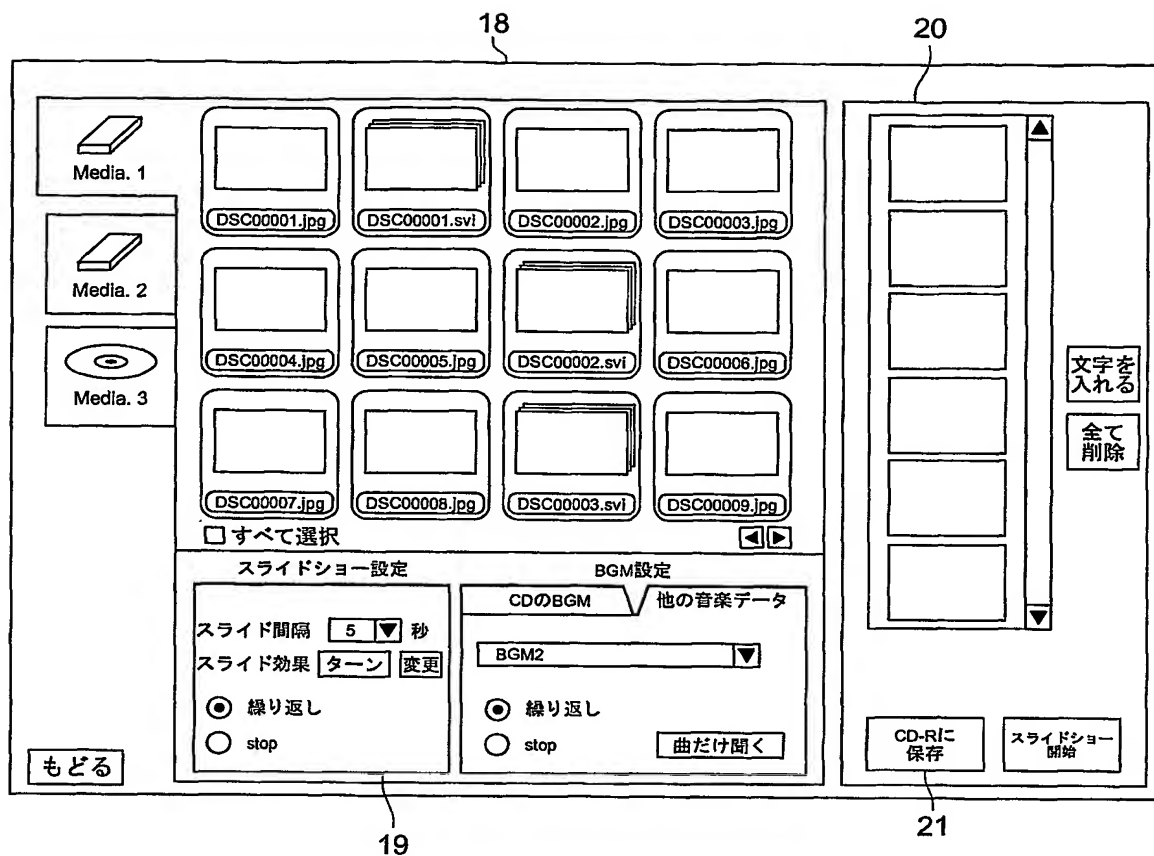
スライドショー開始

19

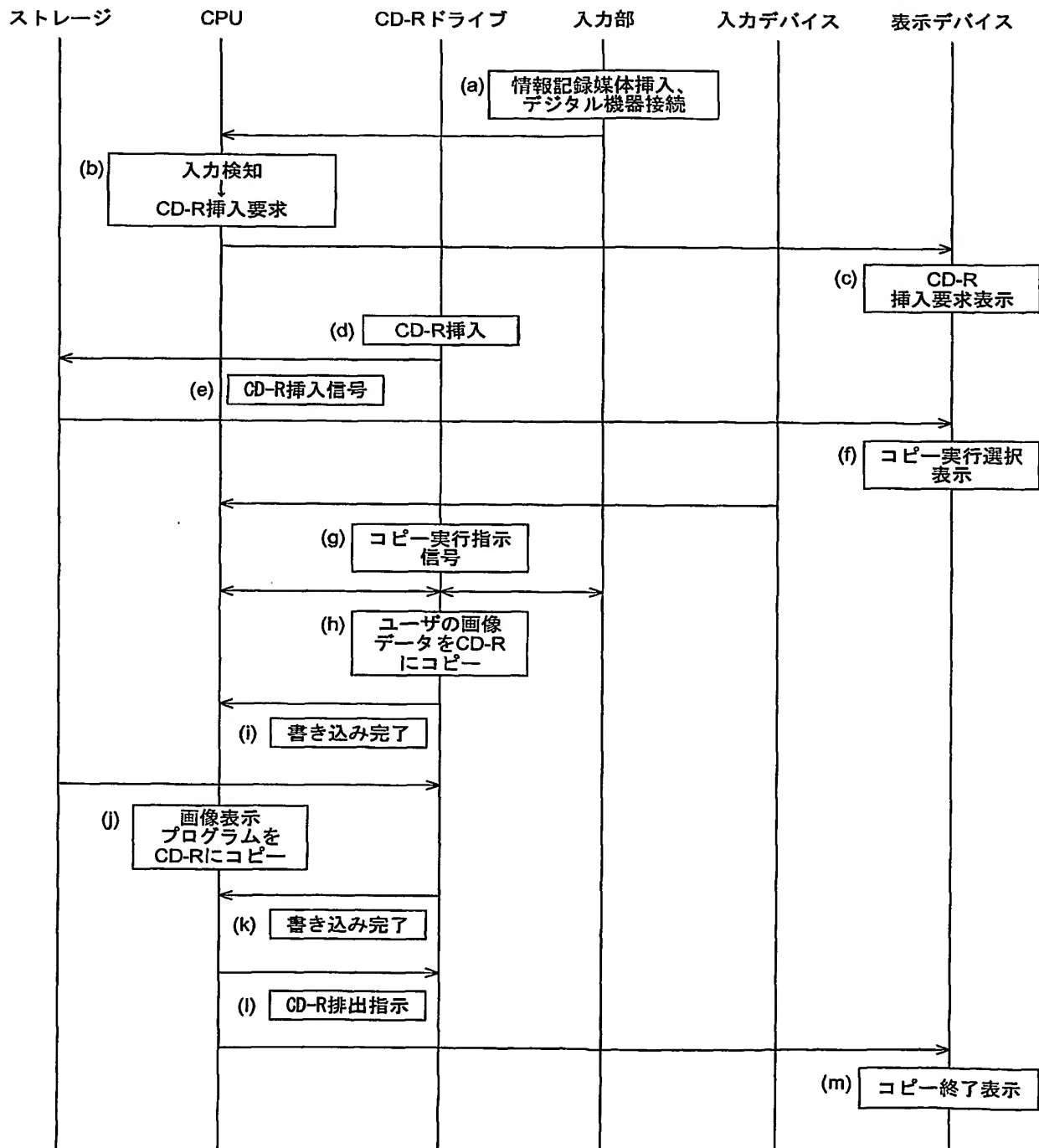
21

The interface is divided into several sections. On the left, there are three film strip icons labeled 'Film. 1', 'Film. 2', and 'Film. 3'. Below them is a 'もどる' (Return) button. The main area displays a grid of 12 image thumbnails, each with a filename starting with '020107'. Below the thumbnails is a checkbox labeled 'すべて選択' (Select all). The bottom section contains two main settings panels: 'スライドショー設定' (Slide Show Settings) and 'BGM設定' (BGM Settings). The slide show settings include a 'スライド間隔' (Slide interval) of 5 seconds, a 'スライド効果' (Slide effect) of 'ターン' (Turn), and two radio buttons for '繰り返し' (Repeat) and 'stop'. The BGM settings include a tab for 'CDのBGM' (CD BGM) and '他の音楽データ' (Other music data), a dropdown menu for 'BGM2', and two radio buttons for '繰り返し' (Repeat) and 'stop', along with a '曲だけ聞く' (Listen to song only) button. On the right side, there is a vertical list of six empty boxes, with buttons '文字を入れる' (Enter text) and '全て削除' (Delete all) to its right. At the bottom right, there are two buttons: 'CD-Rに保存' (Save to CD-R) and 'スライドショー開始' (Start slide show).

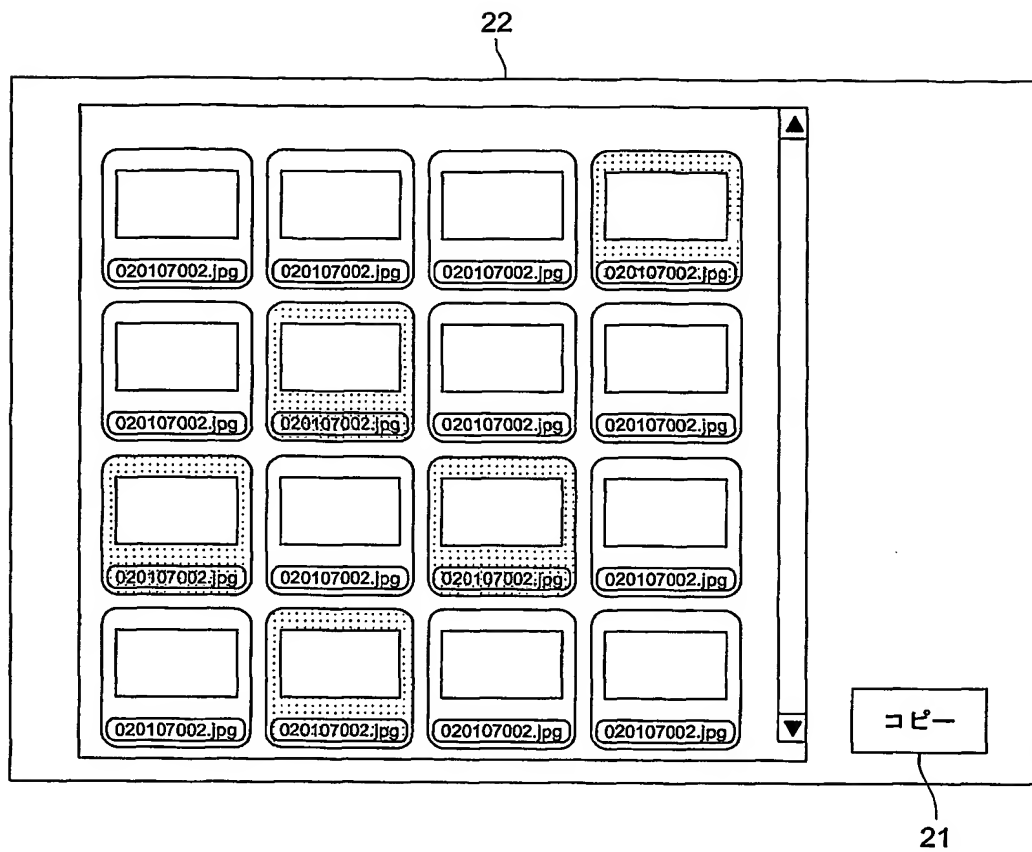
## 第 6 (c) 図



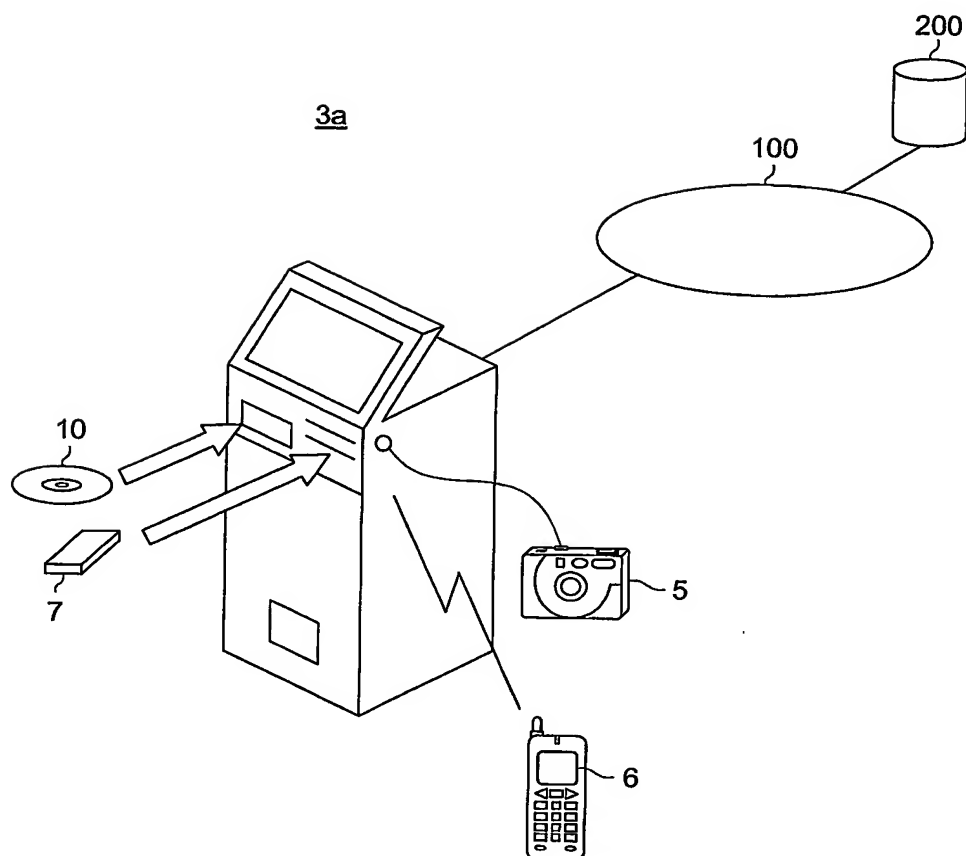
## 第7図



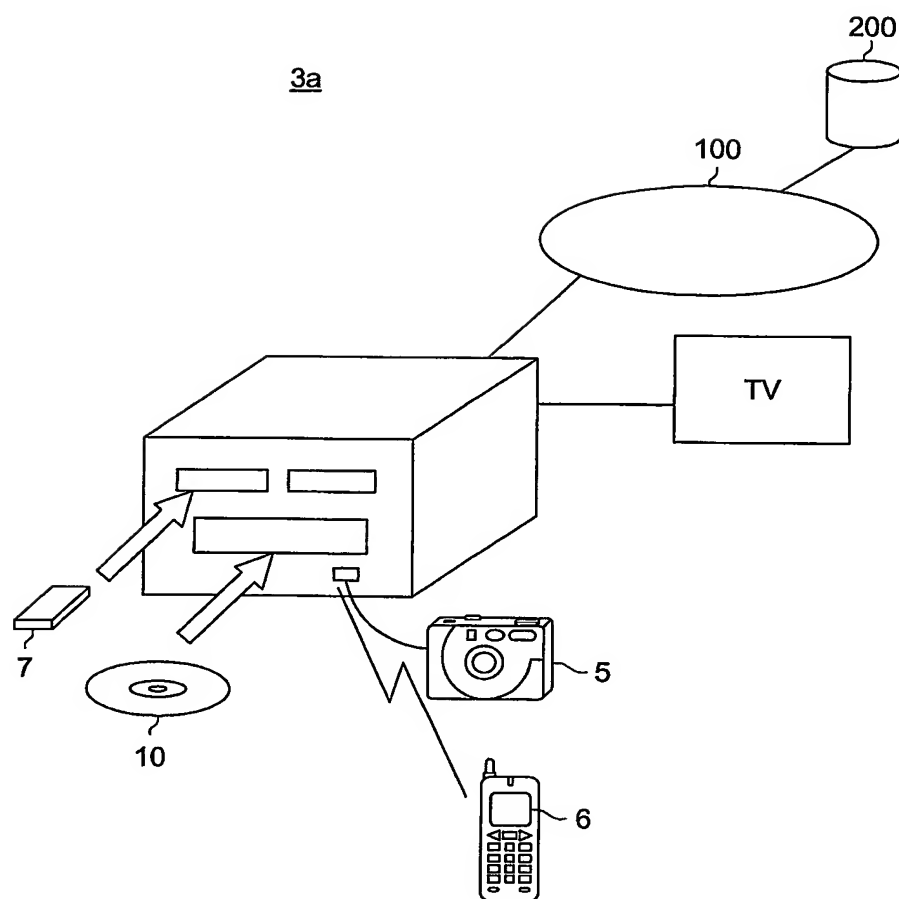
第 8 図



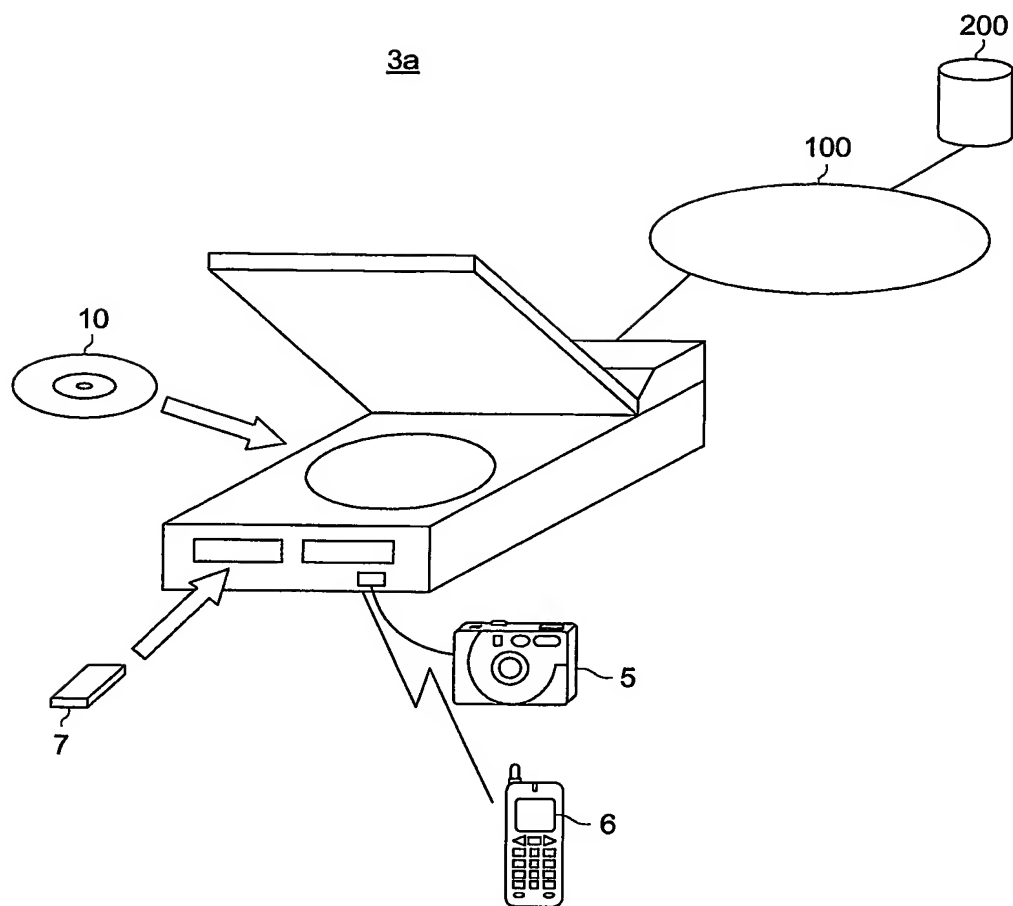
## 第 9 図



# 第 10 図

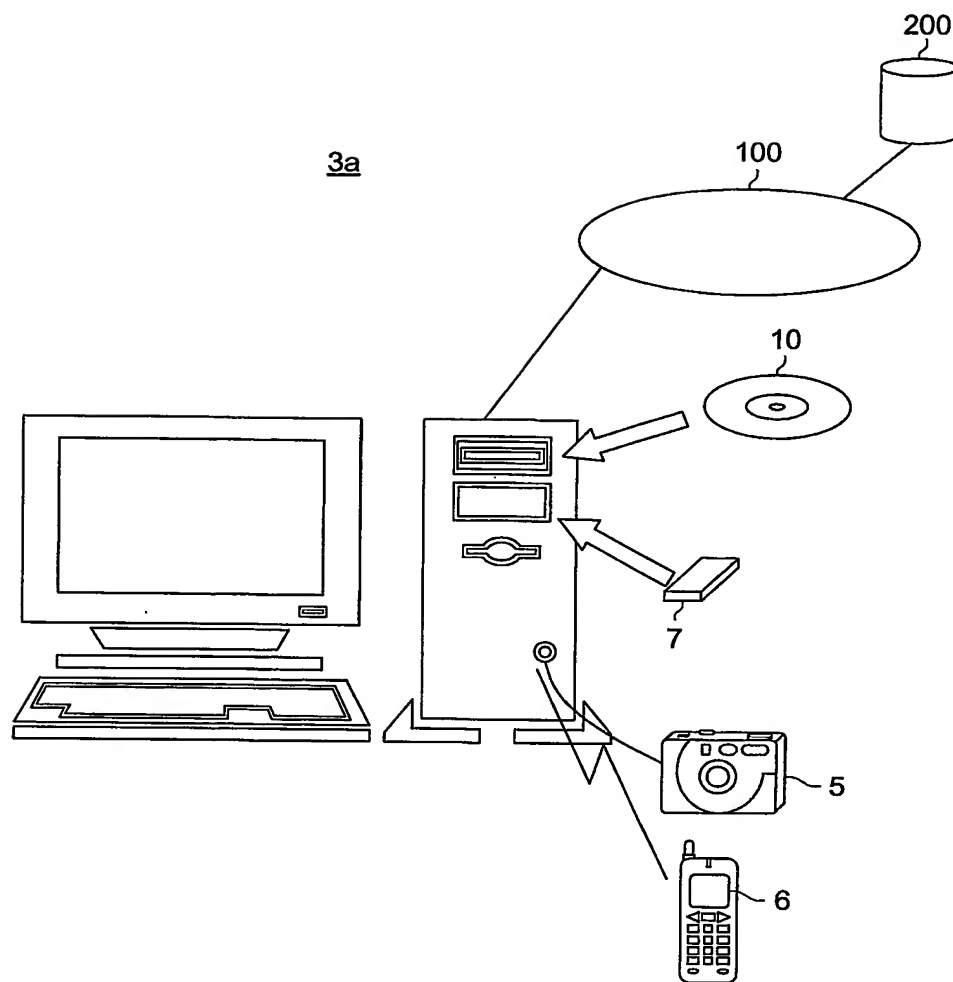


## 第 11 図





## 第 12 図



# INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP03/14451

## A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl<sup>7</sup> H04N5/91, G11B20/10, G11B27/034

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

## B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl<sup>7</sup> H04N5/91, G11B20/10, G11B27/034

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2004
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2004	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2004

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

## C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 2000-4419 A (Hitachi, Ltd.), 07 January, 2000 (07.01.00), Full text; Figs. 1 to 11 (Family: none)	1-10
X	JP 2002-77806 A (Seiko Instruments Inc.), 15 March, 2002 (15.03.02), Full text; Figs. 1 to 19 (Family: none)	1-10
X	JP 2002-63265 A (Kabushiki Kaisha Shikku), 28 February, 2002 (28.02.02), Full text; Figs. 1 to 6 (Family: none)	1-10

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance	"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"E" earlier document but published on or after the international filing date	"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"&" document member of the same patent family
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	

Date of the actual completion of the international search  
17 February, 2004 (17.02.04)

Date of mailing of the international search report  
02 March, 2004 (02.03.04)

Name and mailing address of the ISA/  
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP03/14451

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 2002-304350 A (Fuji Photo Film Co., Ltd.), 18 October, 2002 (18.10.02), Full text; Figs. 1 to 14 (Family: none)	11
X	JP 2001-312552 A (Fuji Photo Film Co., Ltd.), 09 November, 2001 (09.11.01), Full text; Figs. 1 to 24 (Family: none)	11
A	JP 2001-14152 A (Canon Inc.), 19 January, 2001 (19.01.01), Full text; Figs. 1 to 12 (Family: none)	1-11
A	JP 2002-197804 A (Casio Computer Co., Ltd.), 12 July, 2002 (12.07.02), Full text; Figs. 1 to 12 (Family: none)	1-11
A	JP 2001-103415 A (Dainippon Printing Co., Ltd.), 13 April, 2001 (13.04.01), Full text; Figs. 1 to 6 (Family: none)	1-11
A	JP 2000-358207 A (Canon Inc.), 26 December, 2000 (26.12.00), Full text; Figs. 1 to 14 (Family: none)	1-11

## A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl<sup>7</sup> H04N5/91, G11B20/10, G11B27/034

## B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl<sup>7</sup> H04N5/91, G11B20/10, G11B27/034

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2004年
日本国登録実用新案公報	1994-2004年
日本国実用新案登録公報	1996-2004年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

## C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	JP 2000-4419 A(株式会社日立製作所)2000.01.07 全文, 第1-11図(ファミリーなし)	1-10
X	JP 2002-77806 A(セイコーインスツルメンツ株式会社)2002.03.15 全文, 第1-19図(ファミリーなし)	1-10
X	JP 2002-63265 A(株式会社シック)2002.02.28 全文, 第1-6図(ファミリーなし)	1-10

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

## \* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの  
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの  
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)  
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献  
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献  
「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの  
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの  
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの  
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

17.02.2004

国際調査報告の発送日

02.3.2004

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)  
郵便番号100-8915  
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)  
野村 章子

5C 2949

電話番号 03-3581-1101 内線 3540

[illegible]